



# TAKAHASHI

有限会社 高橋塗装工業

<募集概要>

- ・職種：ブラストスタッフ（技術者）/現場マネージャー（営業）
- ・勤務時間：8：00～16：30
- ・休日：毎週休二日（原則土日）、GW、夏季休暇、年末年始

# 火力発電設備環境改善工事 (ボイラー等チューブ外面ブラスト洗浄)

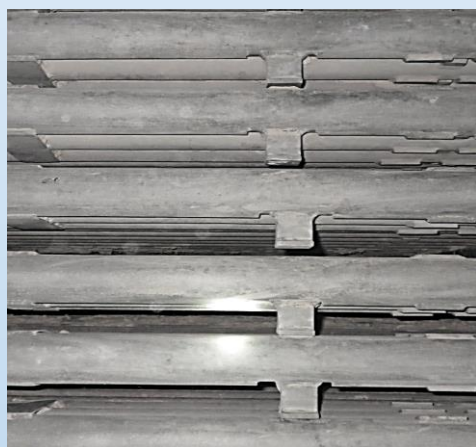
多くの火力発電所や製油所、化学工場、製紙工場等では自社で発電設備等を所有しています。様々な発電方法がありますが、ガスや重油、バイオマス燃料等の燃料を燃やし、ボイラーの中にあるチューブを熱し、チューブ内を通っている水等を蒸発させ発電タービンを回すことで発電しています。

燃料を燃やすと燃えカスが発生しますが、それらが徐々にチューブに張り付き覆っていき、熱が伝わりにくい状態になっていきます（「施工前」参照）。熱が伝わりにくいと、より温度を上げて発電効率を維持しようとしますが、そのためには多くの燃料が必要となり、企業としては燃料費が増えていき、最終的には我々消費者へも影響が及んでいきます。

施工前



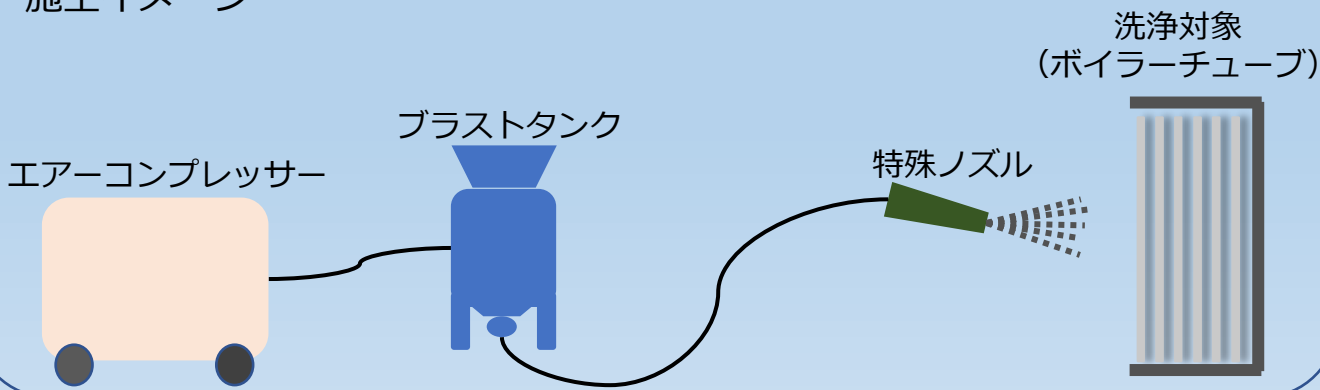
施工後



そこで私達は、塗装の下処理の技術であるブラスト処理を応用して、ボイラーチューブを洗浄する工事を行っています。特殊ノズルを駆使して、砂のようなブラスト材を圧縮された空気と一緒に放出、ぶつけることで付着物や汚れを洗浄します。チューブを覆っていた汚れが除去されることで、当初のように熱が伝わりやすくなり、発電効率が改善されます（「施工後」参照）。

本工事を20年近くに渡り、日本全国の数多くのプラント工場の定期メンテナンスに合わせてボイラーチューブの洗浄を手掛けています。

## 施工イメージ

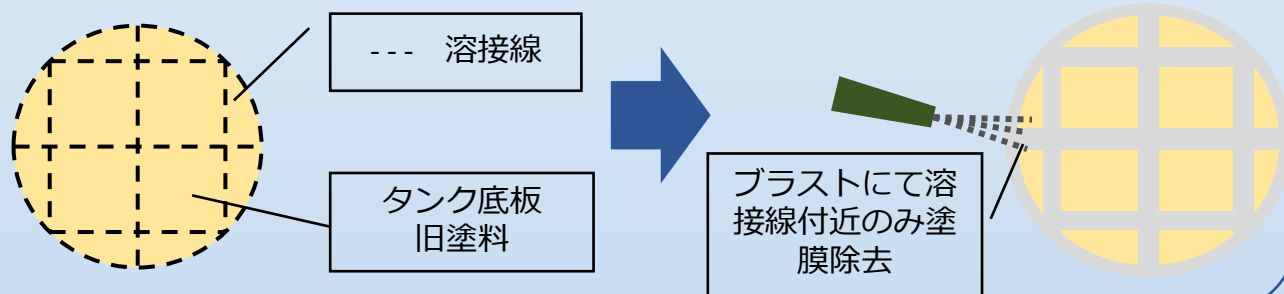


# 重防食塗装工事 (ブラスト処理～エアレス吹き付け)

風や雨、雪などの厳しい自然環境にさらされる構造物（普段利用している道路の橋や鉄塔等）を美しく見せつつ、腐食から防ぐ塗装のこと言い、日々の生活に欠かせないインフラ設備を安全に長く使うために必要な重防食塗装工事。私達は、生活に欠かせないエネルギー供給を行っているENEOS株式会社の仙台製油所内（東北唯一の製油所）にて、主に貯蔵タンクのメンテナンス工事を行っています。

貯蔵タンクは消防法にて点検等が義務付けられており、タンク内外面は塗装によって腐食を防ぐ必要があると決められています。ですが塗装されたままでは鉄板がどのような状態にあるのか点検ができないため、点検時には古い塗料をブラストにて除去します（検査前ブラスト処理）。

## 検査前ブラスト処理（タンク内面溶接線のみの検査の場合）

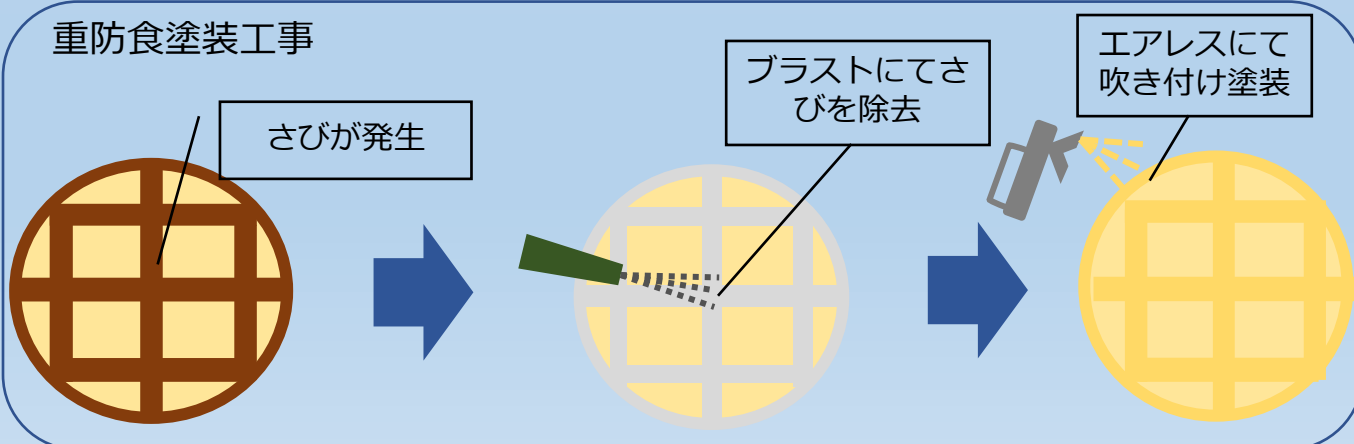


点検が終了した時にはさびが発生しているため、それを除去するために再度ブラストを行い、その上で腐食を防ぐために塗装を行います（重防食塗装工事）。

重防食塗装工事では塗料を厚く塗るのが特徴です。よく使われる刷毛やローラーでは厚く塗るのが難しいので、エアレス塗装機という圧縮空気を使用して塗料を吹き付ける機械を用いて吹き付け塗装を行います。

創業以来、仙台製油所内にて貯蔵タンクの内外面メンテナンス工事他、数多くの工事を手掛けております。

## 重防食塗装工事



# 社長兼採用担当挨拶（メッセージ）

初めにこのパンフレットを手にとってご覧いただき有難うございます。私は2021年から建設業界での勤務をスタートさせました。大学を卒業し、主に中小企業から輸出入に関する相談など海外ビジネスをサポートする仕事に就き、ほとんど机に座り、パソコンを使って仕事をするような建設業とは異なる仕事をしておりました。前職で経営者と接する機会が多かったことも影響し、会社を経営したいと強く思うようになり、26歳の時、父が経営していた現在の会社を継ぐことを決意し、2021年3月に宮城へ戻りました。

現在、日々現場作業も一緒に行っていますが、入社当時は3K（きつい・汚い・危険）と言われる建設業の仕事ですので、正直「辛いのかな」と思っていました。ですが、仲間と一緒に汗を流しながら作業し、完成させた成果物を目の前にした時に込み上げてくる感情は、辛かったではなく「楽しい」や「達成感」といった嬉しい感情でした。今でも工事が一つ完了する毎に楽しさ（達成感ややりがい）を強く感じます。これが建設業の面白さ、仕事のやりがいと考えています。

他方で、危険と隣り合わせの仕事でもあります。一人一人の安全を守るために、現場毎に安全のためのルールが設定されております。そのルールを守れない、あるいは仲間と決めたルールを守れないと、自分自身そして一緒に働く仲間を危険にさらしてしまいます。

私達は「皆で協力し合い、楽しく安全に」をモットーに作業しています。複数人で一つの現場に入りますが、リーダーを中心に皆で意見を出し合いながら作業を進めるようにしています。年齢や経験年数に関係なく意見し合うことで、それぞれが困ったときに声をかけやすい環境で作業することができます。その結果、安全に、そしてお客様からも喜んでもらえる良い仕事をする事に繋がると考えています。

弊社は社長交代し、新たな時代に入りました。先代の意思を引き継ぎ、これまで同様、宮城だけでなく日本全国のインフラ設備の維持・改善に貢献します。更に、“ペンキ屋”の枠を超え、総合インフラメンテナンス企業への成長を目標に、ロボットの活用を含め、新たな取り組みに挑戦して参ります。

まだまだ小さな会社ですが、事業拡大に向けて、一緒に汗を流してくれる仲間を募集しています。是非お気軽にお問合せください！



代表取締役 高橋 峻（たかはし しゅん）

経歴：2013.03 東北学院高等学校 卒業  
2017.03 早稲田大学商学部 卒業  
2017.04～2021.03 日本貿易振興機構(JETRO)  
2021.03 有限会社 高橋塗装工業 入社  
2022.05～ 現職

## 有限会社 高橋塗装工業

〒985-0032 宮城県塩釜市白萩町7番12号

TEL：022-355-2456

FAX：022-355-2457

E-mail：somu@takahashi-tosoh.com

URL：https://www.takahashi-tosoh.com/

